

iPS細胞の臨床利用する際の 問題点とその解決策

- 培養中のcontamination
- 培養サンプルの取り違え

•造腫瘍性(悪性腫瘍、奇形腫)

•外部遺伝子の導入

→未分化なiPS細胞そのものではなく、ある程度分化させた中間段階の細胞株、もしくは最終製品で造腫瘍性や遺伝的特徴を十分検討するのが現実的ではないか。

•臨床研究の対象疾患

→未知のリスクが存在することを勘案し、重篤で致死性の高い疾患、QOLを著しく損なう疾患など対象を限定し、かつ、あらゆるリスク・ベネフィットに関する情報を開示した上で、被験者となるべき者の自己決定権に委ねる視点も必要ではないか。